

獣害対策研究

集落ぐるみのサル追い払いによる農作物被害軽減効果

サルによる農作物被害を防ぐため有効とされる、一部の農家のみではなく、集落の全戸が集落を1つの農地と意識し、全戸が集落を守る追い払い方法「集落ぐるみの追い払い」について、取組前後の被害対策の指標と農作物被害の指標を計測し、その効果を検証しました。

集落ぐるみの追い払い

1. 集落を1つの農地と意識し、サルを見たら自分の農地以外でも集落から出て行くまで追い払う。
2. 他の人が追い払い始めるのに気づいたら、自分も参加し複数で追い払う。
3. 追い払いには花火、パチンコ等、複数の威嚇資材を使用する。

	集落A		集落B		集落C		集落D		集落E	
	取組前	取組後	取組前	取組後	取組前	取組後	取組前	取組後	取組前	取組後
回答農家戸数	20	23	29	29	74	80	14	14	24	24
追い払い参加戸数(戸)	11	20	13	29	26	35	8	9	12	10
総目撃回数(回) (注1)	1441	291	210	125	1034	1463	263	106	370	411
山林内(回)	21	10	20	23	39	153	5	27	18	82
被害前(回) (注2)	101	146	10	33	217	453	25	58	64	62
被害後(回)	464	31	41	21	296	390	68	2	72	45
追い払い回数の合計(回)	586	187	71	77	552	996	98	88	154	189
群れの人慣れ程度(注3)	6	3	5	2	6	3	5	2	5	5
被害農家戸数(戸)	19	16	17	12	30	28	3	4	22	21
被害軽減の効果										
甚大(箇所)	8	0	10	0	10	8	6	0	9	6
大(箇所)	17	0	32	2	20	6	8	4	10	10
中(箇所)	10	5	12	7	21	14	7	3	3	9
少(箇所)	2	9	14	3	9	10	13	0	7	8
微(箇所)	1	6	5	1	7	5	0	0	2	1
合計(箇所)	38	20	73	13	67	43	34	7	31	34

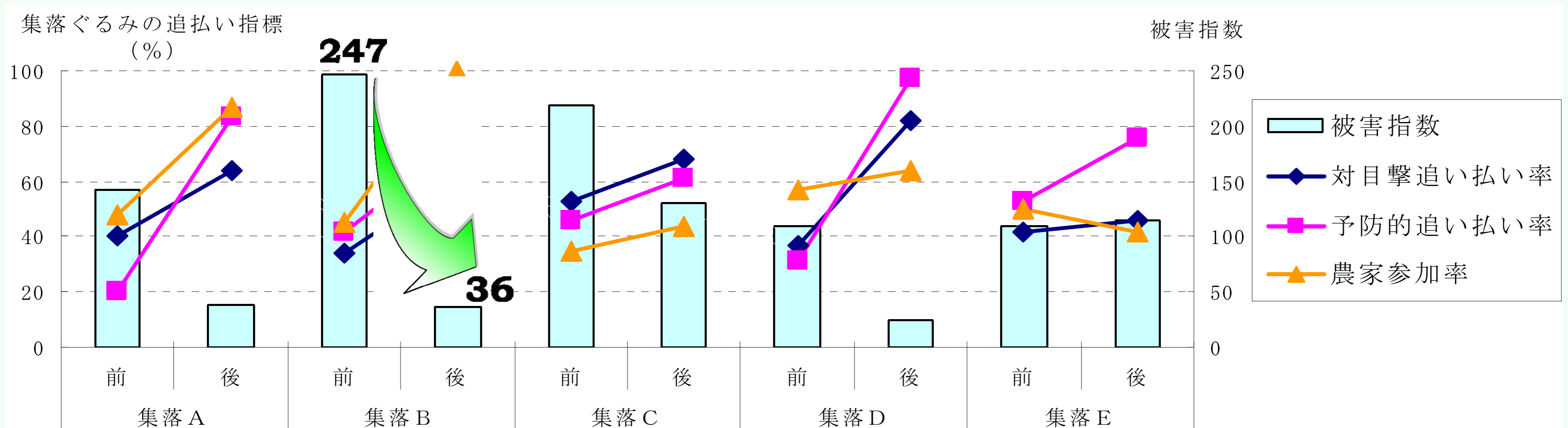
注1) 「総目撃回数」は各回答者が1年間にサルを目撃した回数の和。

注2) 山林内＝「サルが山にいるうちに追い払った」、被害前＝「農地で被害に遭う前に追い払った」、被害後＝「被害に遭ってから追い払った」

注3) 群れの人慣れ程度:

- 1＝集落内には出沒せず、人を見れば逃げる、
- 2＝まれに集落内に出沒し、人との距離が50m程度になると逃げる、
- 3＝移動時、道路を素早く横切ったりする。人との距離が50mあっても逃げない場合がある、
- 4＝道路で座り込んだり毛繕いする。追い払うと逃げるが追い払わないと人を無視する、
- 5＝電線や人家の屋根伝いに移動し、追い払っても逃げない場合がある、
- 6＝家屋内に進入することもある。追い払うと人に威嚇行動をとる

注4) 調査は集落全農家に、取組前の平成18年度、取組年の平成19年度、それぞれ1年間の被害や追い払い行動等について解答を求めるアンケートにより実施した。



注1) 「対目撃追い払い率」＝「追い払い回数の合計」／「総目撃回数」×100

注2) 「予防的驱赶率」＝(「山林内」＋「被害前」)／「追い払い回数の合計」×100

注3) 「農家参加率」＝「追い払い参加戸数」／「回答戸数」×100

注4) 被害指数は、各被害箇所に「甚大」＝5、「大」＝4、「中」＝3、「少」＝2、「微」＝1のポイントを乗じたものの計。

「集落ぐるみの追い払い」の進捗を示す指標として、「農家参加率」「予防的驱赶率」「対目撃驱赶率」が向上することで、サルによる農作物被害が軽減され、特に、この事例では、集落Bで最も軽減効果が高く、被害指数は実施前の247から36(約15%)に低減しました。